

南魚理センだより

令和7年8月22日発行

No. 5

南魚沼市学習指導センター

理科教育部

〒946-6680 南魚沼市六日町 865
(学習指導センター内)

TEL 025(773)6702

FAX 025(773)6703

E-mail risen@minamiuonuma.ed.jp

今年度も、郡市小・中学校教育研究会理科部との共催により、南魚沼地域児童生徒標本展・科学研究発表会を、以下のように実施します。各校理科主任・推進委員の皆様どうぞよろしくお祈いします。

南魚沼地域児童生徒標本展

日時 9月6日(土) 10:00~16:00
7日(日) 10:00~15:00まで

会場 南魚沼市図書館 多目的室

部門 植物標本の部、動物標本の部、その他の標本の部(貝殻、貝化石、岩石、骨格等)
各部門はさらに小学校低学年、同中学年、同高学年、中学校に分ける。

表彰 参加者全員に賞状を贈呈する。ただし、4名以上の共同作品にはグループに1枚。

申込み 申込ファイル(電子データ)をメール添付で理センへ。

【締め切り】9月1日(月) 15:00必着

*申込みファイルは、8月4日(月)に各学校の代表メールに送付済。

作品搬入 9月5日(金) 14時00分~15時00分 <会場準備と審査会を並行して行う>

作品搬出 9月8日(月) 9時30分~10時00分



南魚沼地域児童生徒科学研究発表会

日時 9月30日(火) 14時10分~16時30分(終了時刻は目安)

会場 旧五十沢中学校(現五十沢地域開発センター)
〒949-6775 南魚沼市宮 472 番地 3 <五十沢小学校となり>

部門 小学校中学年の部、小学校高学年の部、中学校の部

審査 発表数の3割程度を「いきいきわくわく科学賞2025」に推薦する。

表彰 発表者全員に賞状とバッジを贈呈する。ただし、4名以上の共同作品にはグループに1枚。

申込み 申込ファイル(電子データ)をメール添付で理センへ。

【申込締め切り】9月8日(月) 15:00必着

*申込みファイルは、8月6日(火)に各学校の代表メールに送付済。

発表原稿 **【原稿締め切り】9月18日(木) 16時30分まで(期限厳守)**

湯沢小・湯沢中学校: メール添付で理センへ(or データCDで提出)。

南魚沼市内小中学校: 共有フォルダ>02 常用>02 全学校共有>

08 理科センター>科研要項(R7)に保存し、理センへメール等で連絡。

発表会準備 9月29日(月) 15時00分~

役員報告会 9月30日(火) 16時30分~(予定)



いきいきわくわく科学賞2025

応募締め切り 10月8日(水) 必着

最終審査 11月7日(金)

※標本展・科学研究発表会ともに、詳細は4月23日(水)の第1回理科主任会の要項をご覧ください。

役員派遣申請は、標本展8月20日(水)・科研発表会9月2日(火)頃、各校へ紙ベースで発出予定です。

7月28日(月)～7月31日(木)

学年別基本研修

「小学校3～6 年間授業の進め方(後期)」

講師:理科センター 協力員

小宮山文子先生 (塩沢小学校)

合計13名の方々から参加いただきました。以下は参加者の皆さんの感想です。

- ・中々準備ができないことが多い。今回の研修では、单元ごとに押さえるべきポイントや教材の作り方などを指導していただき、不安をワクワクに変えることができた。
- ・毎年、新しい教具が開発されていてすごい。



他の学校の様子等、何気ない会話から情報を得ることができた点もよかった。

8月1日(金)

郡市教振小学校理科部共催「地層観察会」

講師:理科センター専門員

林 正栄 様 ・ 小林 民弥 様

郡市教振小理科部研修会と兼ねて実施し

15名の参加をいただきました。猛暑の中、後山辻又川の路頭を2時間弱観察しました。

「現地足運び、地層を自分の目で見るという体験ができよかった。子供たちにもぜひ本物を見せたいと思った。地層の説明について、素敵な紙芝居を用いて説明していただいたので、地層のでき方をイメージし易かった。」という感想がありました。準備も含め講師のお二人に感謝申し上げます。



8月5日(火)～6日(水)「尾瀬宿泊研修会」

講師:小千谷市教育センター所長 大野 滋 様



晴天に恵まれ絶好のフィールドワーク日和となりました。参加者は講師を含め8名。今年も宿泊を伴う、余裕のある日程で尾瀬を満喫できました。連日の猛暑を忘れ、標高1,000m以上の清涼な空気の中、2日間を過ごしました。1日目は、魚沼市奥只見から船・バスを乗り継ぎ御池まで、燧裏林道から段吉新道を通り見晴の弥四郎小屋まで約4時間かけて歩きました。その間湿原に咲く多くの植物を観察できました。2日目は山小屋を出て東電小屋に寄り、ヨッピー橋・牛首を經由して午前中に山の鼻まで到着しました。その後、鳩待峠に着きバスの中で夕立に見舞われましたが、野外では雨に濡れることはありませんでした。講師は昨年に引き続き大野滋先生。年間10回以上、尾瀬に入るベテランの講師様の解説で尾瀬の自然を学んだり楽しんだりできました。有意義なお話ありがとうございました。以下に参加者の感想の一部を紹介します。

- ・尾瀬の魅力を知ることができた。自分では行くことのないルートに行くことができとても有意義だった。参加人数が少なく感じたが、講師の先生の話がよく聞けたことはとてもよかった。



ヒツジグサ



燧山をバックに



抛水林と至仏山